



# プラモデルの町が、 プラモデルになる日。

「プラモデル」の全国出荷額の8割を占めるこの町が、街並みそのものを「プラモデル」に変えていこうと動きはじめた。「静岡市プラモデル化計画」。郵便ポストが分解されプラモデルのランナー状態で設置された。いったい何がはじまるのか。この官民一体の地域創生プロジェクトの仕掛け人のひとり、畑中翔太氏がこの町の未来を語ります。2021年日本サインデザイン金賞受賞。

**開催日：2022/3/1（火） 14:45～15:30 入場無料**

会場：東京ビッグサイト・東ホール内会場ステージ（JAPAN SHOP公式サイトから事前登録制）



**講師：畑中翔太**

クリエイティブディレクター、プロデューサー

1984年生まれ、dea.inc.主宰

2008年博報堂入社。博報堂ケトルを経て、2021年dea.inc.を設立。手段とアプローチを選ばないプランニングで「人と社会を動かす」広告キャンペーンを数多く制作する。現在では広告領域からコンテンツ領域の企画・プロデュース・脚本までを手掛ける。これまでに国内外の200以上のアワードを受賞。2018年クリエイター・オブ・ザ・イヤーメダリスト。地域創生プロジェクト『絶メシ』の生みの親。著書に『チームが自ずと動き出す 内村光良リーダー論』（朝日新聞出版）などがある。

ファシリテーター：山田晃三  
日本サインデザイン協会（SDA）副会長  
月影デザインコンサルティング

